

四谷の

千枚田だより



第 205 号

今年も厳しかった

一昨年は台風の影響で棚田のほぼ全部の稲架が倒壊。昨年は空梅雨で濁水が危ぶまれた。また、稲刈り期の異常な暑さで熱射病にやられたなどの声がちらほら。今年の田植えはかつてない天候に恵まれ、順調



きない。今年は何故か稲の出穂も早く、肝心な受粉開花期の晴れた日の昼近くの午前に受粉する。がままならなかった。成熟期の八月は熱中症警戒アラートが連日発令され、炎天下で畦草刈り中四十六、四七もあり、八十年生きてきて初めての経験であった。千枚田の用水は湧き水であり、田んぼの水も温もり、生殖成長期の稲作条件は好適であったが、八月の降雨日は四日しかなく、稲刈り期には雨が多いのは誰しも予測、刈りたいだが、水を切るのが遅かつ

に推移した。六月中旬、中期に入る。と連日の雨で中干がでたむんでえん…とか…まんだ、チョット青いじゃんかん…など、黄金色の実りには今、一步。案の定、九月に入り、さて、稲刈りをも思った矢先、連日の雨、雨。その雨のお陰？で倒伏。これじゃあ芽(発芽)がでてしまう。棚田の百姓は精魂かけて育てた稲を疎かに出来ない。と雨間をみても稲刈り、稲架かけを行っていい。田んぼで会うごとに話題は…嫌になっちゃう…、参った…、こんな年は無い…、初じまりから終わるまで田植え靴を履いて稲刈りなんて初めてだ…などの愚痴と疲労感が垣間見える。常日頃は冗談や屈託のない棚田の百姓衆にも、さすがに笑顔はない。それでも、コロナ回避族は、相変わらず賑やか。

資料:気象庁 地点 新城

日	5月	6月	7月	8月	9月
1		4.5	10.0		
2		0.5			24.5
3	0.5		17.0		39.5
4	10.0		73.0		9.0
5			9.5		1.0
6			169.0		10.5
7			20.5		75.0
8			42.0		
9			80.5		19.5
10	22.0	24.5	20.5		46.5
11	0.5	86.0	8.0	1.5	4.0
12		1.5			小雨
13		26.0	12.5		8.0
14		8.5	36.0		
15			0.5		
16	56.0				小雨
17			8.0		1.5
18	9.5	13.5	12.5		1.0
19	66.5	27.5			1.5
20	0.5				1.5
21	0.5		1.5		
22		5.5	16.0	0.5	1.5
23				8.5	小雨
24		6.0	5.5		-
25		10.0	64.5		-
26		5.5	72.5		-
27			2.5		-
28		34.0		4.0	-
29					-
30		103.0	2.5		-
31	4.5	-	0.5		-

表は田植えから稲刈りまでの雨量を示した。4月中旬に計 110mm の雨が幸い、田植えは難なくできた。6月中旬梅雨入りと同時に雨が多く、開花・交配が危ぶまれた。8月は雨の日が4日だけの晴天続き、かつてない暑さに辟易。稲刈り期には雨続きを予測したが、これほど雨が長くとは…棚田の百姓は3年続きで泣かされた。



市立鳳来寺小学校校外学習

四谷の千枚田のたんけん 一年生

九月二日、明日の天気予報が雨だったので、一年生は、四谷千枚田のたんけんを本で行いました。バスを降りると、実った稲が広がる千枚田の光景に「なんか、美しい！」と表現する子もいました。稲の穂が垂れているところやたんぼが乾いている様子、カエルやドジョウ、トンボなどの生き物や稲刈りをして働いている人などを発見しました。四谷の小山さんから「生き物と千枚田」の話も聞きました。帰りには、旧連谷小学校へ寄り、運動場をたんけんしました。学びの多い「たんけん」になりました。

千枚田で稲刈り 五年生

九月十五日、千枚田で稲刈りをしました。夏には緑一杯の千枚田でしたが、現在は稲刈りの真っただ中で刈り取られたたんぼもいくつも見られました。

今回も、千枚田保存会の小山さんに教えていただきながら、学校のたんぼの稲を刈りました。初めて使う鎌に戸惑いながらも、一株ずつ丁寧に刈っていきます。徐々に慣れてきたのか、手をつかめる二、三株を一気に刈る子もいました。本日の気

温は三十二℃と、八月の猛暑に比べれば穏やかでしたが、中腰の作業は、思いのほか大変だったようです。



稲を刈り終わったあとに、あずま屋で一息ついたときには、千枚田の涼しい風が、子どもたちを労ってくれました。

脱穀は九月下旬から十月上旬を予定しております。

市立鳳来寺小学校ホームページより

グッドプラクティスに選定

愛知県と名古屋市は、「愛知目標」の目標年及び「国連生物多様性のこ

年（2011年～2020年）」の最終年に地域全体の気運の盛り上げを図る取組の一環として、愛知目標の達成に向けた取組を総括し、更なる取組の促進につなげるため、COP10以降に愛知県内で行われた生物多様性の保全や持続可能な利用に関する取組事例を募。鞍掛山麓千枚田保存会は「生きものと共生したコメづくり」と題して応募、グッドプラクティスに選定された。

敬老会

連谷公民館はコロナ感染症回避のため、恒例の敬老会の催しを中止しました。

満年齢七十九歳以上の敬老者

連合区	四十七戸	二十九名
方 瀬	六名	与良木 六名
真 菰	六名	松 下 十一名
四谷区	五十戸	二十四名
大 代	五名	大 林 六名
身平橋	十三名	

海老の信号

昭和四十九年七月、海老中町に設置された信号機も四十六年の間、住民の安全を見守ってきたが、今回廃止されました。

保存活動三十年

平成三年九月二十三日、五十歳の

誕生日、これまで単身赴任や村のお付き合いなど、地域の皆さんに多々ご迷惑、お世話になった。そのお返しに何か地域のお役に立つことは：思案の結果、荒廃の進む千枚田を地域の宝として「五十にして天命を知る」を念頭に置き、保存活動を始動。

以来三十年、紆余屈折。耕作者、地域の皆さん、行政の方々と共に四谷の千枚田の保存、活性にお世話になったり、なられたり、今では市や県の顔、国民の財産・宝として全国的な知名度を誇るまでに成長した。保存活動始動以来、毎朝四時半から千枚田のご機嫌伺いに一周。三十年歩いていたら八十歳になっちゃった。



行 令和二年十月一日
鞍掛山麓千枚田保存会
発 文 責 小山舜二